



社協だより

かけはし

発行

社会福祉法人
四日市市社会福祉協議会
四日市市諏訪町2番2号
電話 059-354-8265
ファクス 059-354-6486
E-mail
y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp
平成21年7月5日発行

第101号

アルミ缶回収 ご協力ありがとうございます。

平成20年度は、3,155kg、
214,540個の空缶を回収する
ことができました。これからも、
ご協力よろしくお願いいたします！

四日市市障害者自立支援施設 たんぽぽ

なんと!!
積み重ねると、
エベレストの
高さの3倍です

をお渡しすると、「また集めておく
からね」と心強い言葉をいただき
ます。最近では、歩いていると「ご
苦労様」「おはよう」と地域のみな
さまから声をかけていただけるよ
うになりました。



こころくん

たんぽぽでは、平成2年の開所以来、利用者の
作業訓練とリサイクル活動への貢献を目的として
「アルミ缶回収」と「缶つぶし」を行っています。

長年の継続した活動の中で、市民のみなさまの
温かいご支援の輪が、現在では地区市民センター
16ヶ所、学校・保育園6ヶ所、商店8ヶ所、個人
のお宅62軒と市内全域に広がり、ご協力をいた
だけるようになりました。

缶回収には、いつも缶をきれいな状態でご用意
いただくなど、利用者に対する安全や衛生にもご
配慮いただいていることに感謝しています。



近隣地域の缶回収は、「歩きの缶回収」チーム
の担当です。曜日により回収コースが変わります
が、どのご家庭でも「缶」を準備いただいています。
ありがたい気持ちをこめてお礼の手作りカード

「車の缶回収」チームは、地区市民センターを
中心に、学校・保育園、商店や個人のお宅など、
現在30ヶ所余を訪問し、アルミ缶の回収をさせ
ていただいています。1ヶ月に一回程度しか回収
にいけない状態ですが、それぞれ大切に保管し、
利用者の回収を待ってくださいます。



みなさまのご協力で回収されたアルミ缶は、利
用者がつぶした後にリサイクル業者に引き取って
いただき、その収益は利用者の作業工賃となって
います。一缶一缶に市民のみなさまの温かい善意
を深く感じながら、これからも頑張っていきたい
と思います。

たんぽぽは、来年4月で開所20年を迎えます。
多くの市民のみなさまに支えられ、活動を続ける
ことができました。本当にありがとうございます。
これからもよろしくお願いいたします。

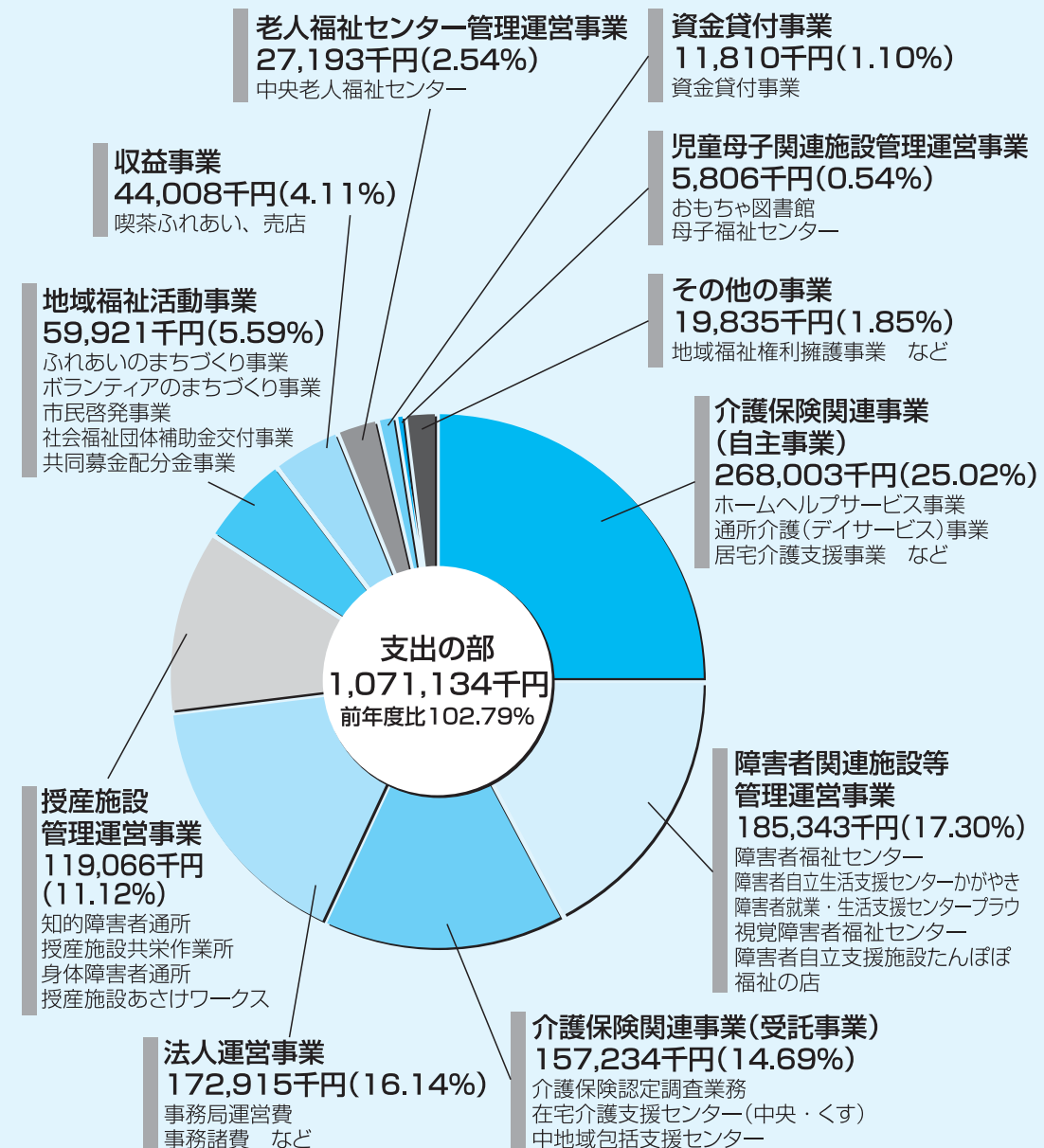
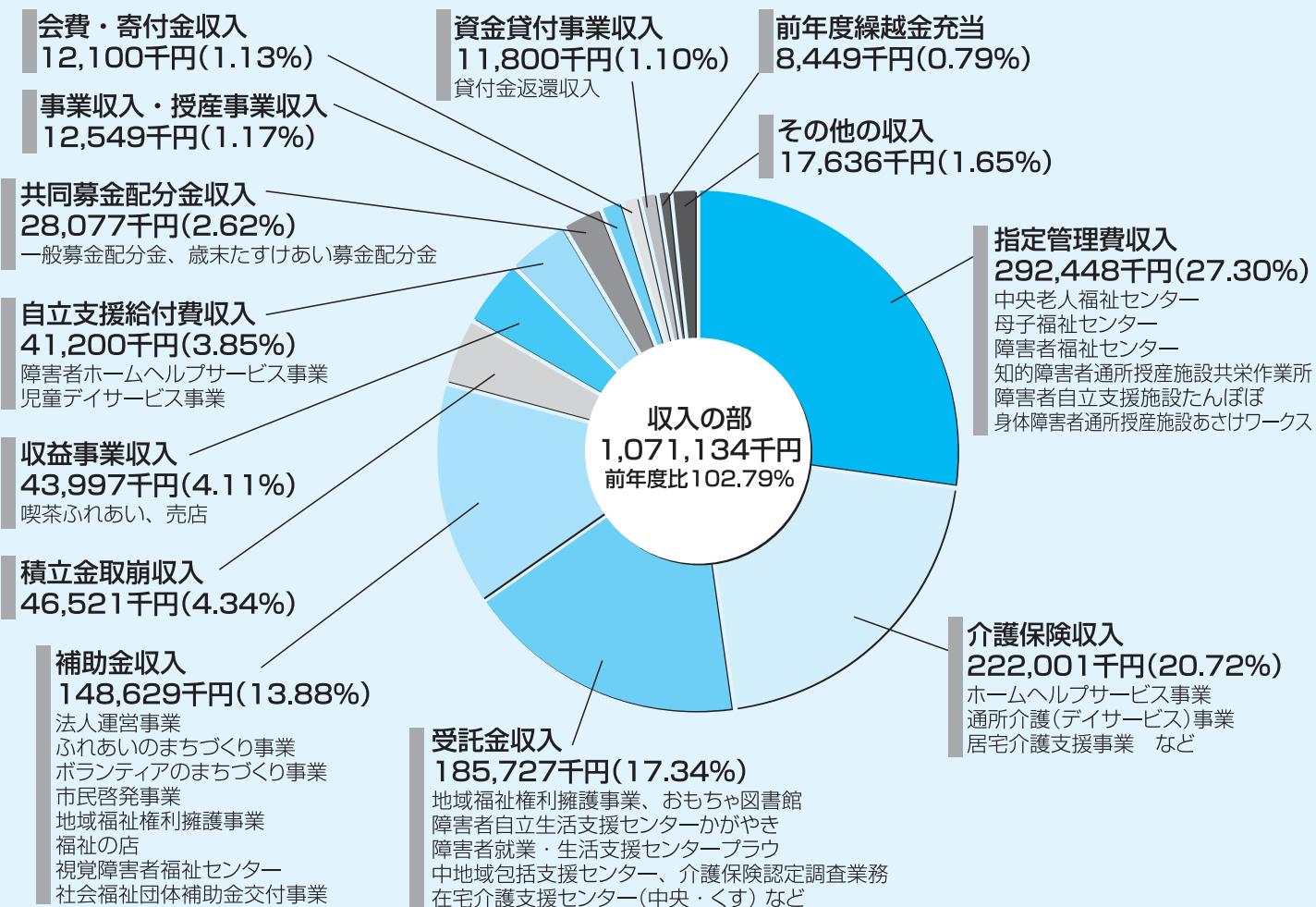
第101号の おもな内容

- 平成21年度予算、平成20年度決算、会長就任にあたって P2、3
- 四日市市福祉教育大学 四社協福祉ゼミナール開講案内 P4
- '09三重県ふれあいスポレク祭参加報告、はり・きゅう・マッサージを職業としている視覚
障害の人の講習会のお知らせ、「よっかいち福祉の店」販売ボランティア募集 P5
- おもちゃ図書館まつり案内、など P6

ホームページを開設しています。 <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/>

平成21年度予算

本年度、四日市市社会福祉協議会では、第3次地域福祉活動計画に基づき、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティアなど地域住民、社会福祉関係機関と連携、協働して、「安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』」を進めていきます。ここで、平成21年度収支予算の概要をご紹介します。



会費のご協力
ありがとうございます
ございます

平成20年度は、みなさまからいただきました会費は、地区社協活動やボランティア活動の支援、市民福祉講演会の開催などの地域福祉活動事業(左のグラフの地域福祉活動事業)のほか、地域福祉権利擁護事業の財源に充てさせていただきました。
ご協力ありがとうございました。



講師：木藤 潮香氏
「ひとつしかない命
～1リットルの涙～」

平成21年3月7日開催の市民福祉講演会では、たくさんの方に、ご参加いただきました。

平成20年度 会計決算報告

収入の部

【単位：円】

項目	決算額
指定管理費収入	266,817,000
介護保険収入	245,532,773
受託金収入	166,701,642
補助金収入	124,020,405
収益事業収入	45,454,863
自立支援給付費収入	41,924,594
共同募金配分金収入	33,999,312
資金貸付事業収入	11,581,555
会費・寄付金収入	14,435,252
授産事業等収入	13,006,424
利用者負担金収入	7,319,873
積立金取崩収入	28,263,197
前年度繰越金充当	13,203,963
その他の収入	20,598,578
合計	1,032,859,431

支出の部

【単位：円】

項目	決算額
法人運営事業	131,359,217
地域福祉活動事業	58,910,481
介護保険関連事業(自主事業)	262,863,583
介護保険関連事業(受託事業)	140,047,241
老人福祉センター等管理運営事業	33,282,428
障害者関連施設等管理運営事業	177,619,837
児童母子関連施設管理運営事業	5,485,306
授産施設管理運営事業	118,915,159
資金貸付事業	12,172,446
収益事業	45,799,703
その他の事業	13,078,393
合計	999,533,794

* 差引 33,325,637円は平成21年度へ繰越いたします。

会長就任にあたって

日頃から、四日市市社会福祉協議会の運営には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、当協議会の会長に選任され、その重責を担うことになりました。微力ではございますが、みなさまのご支援をいただきながら、専心努めて参る所存でございますので、ご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

ご承知のように、今日、子育て支援や子どもの虐待防止、高齢者の介護や介護予防、障害者の自立支援と社会参加、そして高齢者や障害者の権利擁護など、多岐にわたる福祉課題が市民共通のものとなっています。

こうしたなか、当協議会では、「安心して暮らしつづけることができる福祉のまち

づくり」を基本理念とし、市民のみなさまによる地域福祉活動への参画や支援のための諸事業の実施、福祉サービスの提供、共同募金活動への支援など、様々な福祉活動に取り組んでおります。

今後とも、市民のみなさまをはじめ、行政、関係機関のみなさまにあっては、当協議会活動に対し温かいご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

社会福祉法人
四日市市社会福祉協議会
会長 長谷川 正統



「ふくし・・・ってなんだろう！」

「福祉」ってあたりまえによく使う言葉だけれど・・・ なんとなく「福祉」に興味があるのですが・・・
何か人の役に立つことがしたい。でも私に何ができるかしら・・・



こころくん

四日市市社会福祉協議会 四日市市福祉教育大学 四社協福祉ゼミナール 開講!!

「ふだんのくらしはしあわせですか？」

四日市市社会福祉協議会では、みなさまとともに福祉（ふだんのくらしのしあわせ）活動を展開しておりますが、普段の暮らしにはさまざまな福祉課題があり、現在ある福祉サービスなどでは解決に至らない問題もたくさんあります。

そこで、市民のみなさまと福祉についてあらためて考え、学ぶ機会として四日市市福祉教育大学四社協福祉ゼミナールを開講します。「ふだんのくらしのしあわせ」を考える活動について学んでいきましょう。ぜひご参加ください。

日時 ○開講式・第1回講座

平成21年 8月19日(水)
17時30分～20時30分

○第2回以降の各講座

平成21年 9月16日(水)
10月14日(水)
11月18日(水)
12月16日(水)
平成22年 1月20日(水)

※いずれの日程も

18時30分～20時30分

場所 四日市市総合会館 3階

会議室1.2

講師 大阪教育大学准教授 あらさき くにひろ 新崎 国広 氏

内容 市民福祉活動の視点から「福祉」について考えてみましょう！

※詳しくは右表参照

定員 40名

※原則として全回参加できる人

※申込多数の場合は抽選

参加費 無料

申込締切 平成21年7月17日(金)

申込先 市社協 総務課地域福祉係

電話 059-354-8144

ファクス 059-354-6486

※氏名、連絡先、受講の動機をお知らせください。

●無料駐車場はございませんので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●内容

回	日程	テーマ
1	H21 8/19	開講式、私たちの暮らしと福祉 「福祉活動による学びと社会参画の意義」
2	9/16	「市民福祉活動とは何か？貧困と地域福祉活動」
3	10/14	「市民社会の創造における ボランティアの意義」
4	11/18	「社会の仕組みと市民福祉活動」
5	12/16	「市民の福祉と権利擁護」
6	H22 1/20	「生涯学習から市民福祉活動へ ～ゼミナールでの学びを実践につなげよう～」

※第2回～第5回には新崎先生以外にも実践者や研究者をお招きして講義を進めていきます。

「四日市市社会福祉協議会 四日市市福祉教育大学」とは

四日市市策定の第2次四日市市地域福祉計画に基づき、福祉の考え方などについて見つめ直し、福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として、平成21年度から開講するものです。市全域を対象とした「四社協福祉ゼミナール」、各地区単位で開催していく「地区福祉ゼミナール」、専門分野を学習できる「専門ゼミナール」の3つの学習の場を計画しています。開催については、順次お知らせいたしますのでぜひご参加ください。

「'09三重県ふれあいスポレク祭」に参加して！

四日市市障害者自立支援施設 たんぽぽ

障害のある人がスポーツ・レクリエーションなどを通して交流し、社会参加や障害に対する理解促進を図ることを目的として、三重県主催のふれあいスポレク祭が、6月6日(土)に四日市ドームで開催されました。当日は県下から総勢1337名が集まり、ダンスなど10種類のゲームに参加し、楽しいひとときを過ごしました。

たんぽぽからは、利用者・職員・ボランティアの69名が参加し、パン食い競争ではお目当てのパンをねらって一目散に走ったり、さいころゲームでは景品が当たる目がなかなか揃わなく何度もチャレンジしたりと、日ごろの活動では味わえない楽しさを満喫しました。

ボランティアからは、「一生懸命に参加される姿に元気をもらいました」、「笑顔が忘れられない。施設行事にもこれからはどんどん参加したい」と温かい言葉をいただきました。



はり・きゅう・マッサージを 職業としている視覚障害の人の 講習会のお知らせ

はり・きゅう・マッサージを職業としている視覚障害の人を対象に、技術の向上をめざした講習会を開きます。講義と実技指導による講習会です。

第1回は、8月20日(木)午後を予定しています。奮って、ご参加を！

申し込みが必要ですので、詳しくは右記にお問い合わせください。

ひとのからだに関わっている仕事だけに、お一人おひとりが真剣な姿勢でぞまれています。



四日市視覚障害者福祉センターは、市社協が設置・運営をしている施設で、市内在住の視覚障害の人に、生活の豊かさにつながる各種事業や視覚障害者団体などへの貸館、市の刊行物などの点訳などの支援を行っています。

今後も情報は、社協だより「かけはし」でお知らせします。

申込・問い合わせ先

市社協 四日市視覚障害者福祉センター
四日市市幸町3番5号

電話・ファクス：059-354-5549

○月曜日～水曜日 9時～15時

○木曜日 9時～17時

「よっかいち福祉の店」 販売ボランティア募集



「よっかいち福祉の店」は、在宅の障害者、高齢者及び福祉施設利用者による作品の展示販売を通して、その社会参加を支援しています。常設店として、四日市市総合会館(1階)とジャスコ四日市尾平店(3階)の2店舗があり、どちらも販売ボランティアのご協力を得ながら、運

営をしています。

「よっかいち福祉の店」では、販売のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。詳しくはお問い合わせください。

一緒にボランティアしませんか？

問い合わせ先

市社協 総務課管理係
電話 059-354-8265
ファクス 059-354-6486



手作り人形劇もあります。

※入場料、事前申し込みは必要ありません。



ファクス 059-354-6486

[illegible]